



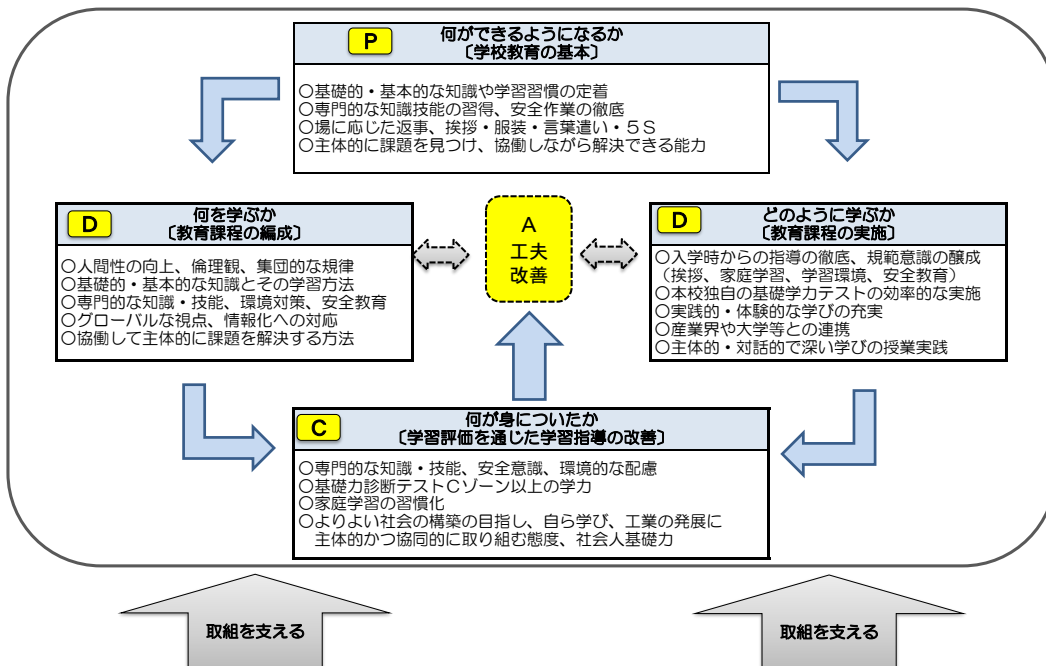
岡山県立笠岡工業高等学校 グランドデザイン

生徒の実態	内外の環境分析
<ul style="list-style-type: none"> ○ 純朴な生徒が多い。 ○ 多様な支援を必要とする生徒も入学している。 ○ きちんとした挨拶が十分にできていない生徒が若干いる。 ○ 基礎学力が不足し、学習習慣が身に付いていない生徒が一定数いる。 ○ 規範意識や自己有用感が醸成されていない生徒が一定数いる。 ○ 部活動に入っていない生徒が一定数いる。1年生の入部率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個を大切に、きめ細かやかで丁寧な指導を行っている。 ○ 挨拶運動や笠工テクノ工房等により、地域との連携や繋がりは強い。 ○ 専門的な知識・技能を活用した各種コンテスト・競技会で優秀な成果を上げている。 ○ 5軸MC、レーザー加工機、ICT機器等学習環境が整備されている。 ○ 積極的な魅力発信を行っているが、募集定員の確保に苦慮している。 ○ 再編整備PTが組織され、新校の検討に入る。

《生きる力を資質・能力として具体化するための3つの柱》
①知識・技能、②思考力・判断力・表現力等、③学びに向かう力・人間性等

本校の使命 存在意義	○学習指導要領の方向性を踏まえ、基礎学力の定着、専門的な知識や技能の向上を図りつつ、主体的・対話的で深い学びを重視する中で、STEAM教育や課題解決学習を展開することにより、思考力・判断力・表現力を育成する。これらを推進することで、将来を見据えた行動力があり、社会の変化に柔軟に対応できる創造力豊かな「人財」や地方創生を支える「人財」を育成することで、地域とともに発展する工業高校を目指す。			
本校の目指す姿	○生徒一人一人が大切にされ、笠工生としての自信と誇りを身に付けさせる。 【「人財」育成】 社会人としてのマナーや確かな職業観・勤労観を持ち、意欲的で我慢強さや責任感を身に付けた「人財」を育成する。 【学力向上】 基礎的な学力と教養を身に付けるとともに、豊かな専門的な知識や技術技能を有する「人財」を育成する。 【地域との連携】 地域社会のニーズや保護者の期待に応え、地域との連携を密にして、開かれた学校づくりを推進する。 【魅力的な学校づくり】 再編整備PTでの新校の検討を進め、学習環境を有効に活用し、全ての教職員が自己の資質向上、専門性の深化に努め、生徒にとって魅力的な学校づくりを推進する。			
令和7年度 重点目標	【「人財」育成】 ○個を大切に指導、SC、SSW等校外専門家の有効活用 ○規範意識の向上、基本的な生活習慣の確立 ○部活動の活性化・効率化	【学力向上】 ○基礎学力向上、学習環境整備 ○ICTの有効活用を通じた考える楽しさ、わかる喜び、主体的に学ぶ授業実践 ○高度な国家資格等への積極的な挑戦	【地域との連携】 ○市内県立3校や地元企業、福山大学との連携推進 ○笠工テクノ工房、ボランティア活動等の推進 ○キャリア教育・進路指導の推進	【魅力的な学校づくり】 ○ものづくり教育のさらなる推進 ○広報活動のさらなる推進 ○Wi-Fi環境等ICT教育環境の整備 ○再編整備PTでの新校の検討

目標実現に向けた取組の方針



実施するために何が必要か (指導体制の充実、必要な支援、家庭・地域との連携・協力)	生徒にどのように支援するか (どのような配慮が必要か)
<ul style="list-style-type: none"> ○多様な支援やきめ細やかな対応のための指導技術の向上 ○挨拶指導や教科指導等に対する教員の共通理解と徹底した指導意識 ○主体的・対話的で深い学びの授業改善に向けた教員研修の実施（含PBL（課題解決型学習）） 	<ul style="list-style-type: none"> ○指導技術の向上（多様な支援が必要な生徒への対応） ○教員間の情報共有（個別の支援計画を含む） ○SC、SSW等校外専門家の有効活用 ○安心して活動できる居心地のよい学校づくり（生徒教員の人権尊重）